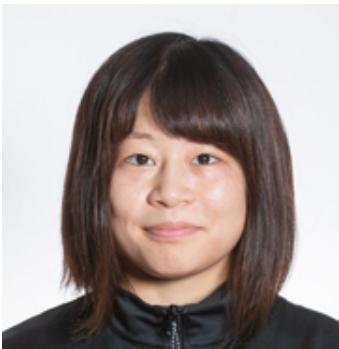


【レスリング】

オリンピック出場資格獲得



【レスリング協会HPより】

9月14日から22日までヌルスルタン(カザフスタン)で開催された2019年レスリング世界選手権大会女子53kg級で向田真優さん(至学館大4年)が、銀メダルを獲得し、来年の東京オリンピックへの出場権を獲得しました。JOCエリートアカデミーとして、初の“快挙”です。

向田さんは、2010年に第3期生として入校後、2014年第2回ユースオリンピックや2016、18年世界選手権など数多くの国際大会でタイトルを獲得しています。

また、この大会の女子72kg級に出場した古市雅子さん(1期生:自衛隊体育学校)は、初出場ながら健闘し銅メダルを獲得しました。男子65kg級に出場の乙黒拓斗君(5期生:山梨学院大3年)も5位に入賞し、日本としての、オリンピック出場枠を獲得しました。

これからは、他の階級でも、出場権獲得者が出てくることが期待できます。



世界選手権準決勝:Prevolaraki, Maria(ギリシャ)との対戦
【レスリング協会HPより】

【卓球】

アジアジュニア選手権

2019年アジアジュニア選手権大会がウランバートル(モンゴル)で開催され、宇田君、長崎さん、木原さん、小塩さんの4名が日本代表として出場しました。今大会でも出場した4名は、大活躍でした。

長崎さんの女子シングルス優勝は、日本人として初めてです。また、3位になった小塩さんも準々決勝で2017年世界ジュニア卓球選手権女子シングルス優勝者の中国選手を破っての銅メダル獲得は、非常に価値のあるものです。

また、これまでも国際大会で活躍している女子ダブルスの長崎・木原ペアが安定した力を発揮し、決勝で1ゲームを落としたものの、それまでは1ゲームも落とさず、完勝しました。男子ジュニアダブルスでも宇田君が戸上選手と組んで出場し、優勝を果たしました。



【卓球協会HPより】

大会開催地のウランバートルが、標高が1300m以上あり、ボールの伸びが平地と異なり、出場した選手は苦労した様子でした。帰国した選手からは「ボールの飛び方が違ったので苦労した」という言葉がありましたが、その中でもしっかり結果を残すことができました。卓球のアカデミー生が、着実に力を伸ばしていることを証明できた大会でもありました。

なお、今大会に出場した4名のアカデミー生は11月にコラート(タイ)で開催される2019年世界ジュニア卓球選手権に日本代表として出場します。

《主な成績》-----

・ジュニア女子シングルス

長崎:優勝 ※日本人初
小塩:3位

・ジュニア女子ダブルス

長崎・木原組:優勝
小塩・出澤(EA外)組:3位

・ジュニア男子ダブルス

宇田・戸上組(EA外):優勝

・ジュニア女子団体

長崎・木原・小塩:3位



【卓球協会HPより】

【飛込】

全日本選手権

9月21日から23日まで3日間、第95回日本選手権水泳競技大会(飛込競技会)が金沢プール(石川県)で開催されました。この大会は今シーズンを締めくくる大会であり、また来年の東京オリンピック代表争いにとっても重要な大会でもありました。

JOCエリートアカデミーからは遠藤君と安田さんが出場しました。初日には、安田さんが女子飛板飛込で準優勝を果たしました。この試合、予選では調子が出ず、12位までが決勝進出できる中、10位(得点230.95)で予選を通過しました。決勝に入ると、本来の調子を取り戻し、2回目で63点をマークし、その後も高得点を続け、280点で準優勝となりました。演技の難易度を上げて挑戦しましたが、ほぼノーミスの演技ができたことは、大きな成果です。

また、同じ日に行われた女子3mシンクロナイズドで、修了生の金戸華さん(7期生:セントラル)が優勝を果たしました。



【女子3m飛板飛込 2位安田舞(左)】

2日目の男子飛板飛込では、遠藤君が自己新記録をマークし、同じく準優勝を果たしました。予選には27名が出場し、6回の演技が行われました。遠藤君は前半に難易度の高い技合を組み込んだ演技構成で、3回の演技が終了した時点で3位につけました。5回目の演技は得点が伸びませんでした。6回目で得点を大きく伸ばし、予選3位で決勝に進出しました。決勝で1回目の演技は、得点が伸びませんでした。2回目以降は難易度の高い技を成功させ、70点以上の高得点をマークしました。最後の演技も、72点台をマークし、得点417.3で準優勝を果たしました。なお、優勝者との得点差は、僅か2.85であり、今後の活躍に期待が持てます。また、この結果により遠藤君は、はじめてナショナルチーム入りが決定しました。

遠藤君と安田さんは、今後はシニアの大会への出場機会が増えます。そこでは、競技日程が2日間(1日目に予選と準決勝、2日目に決勝)に渡ることから、それに向けた対応も必要になって来ています。



【3m飛板飛込 2位 遠藤拓人(左)】

【屋内トレーニングセンター・イースト】 エリートアカデミー展示エリア完成

オリンピック競技とパラリンピック競技の共同利用施設「ハイパフォーマンススポーツセンター ナショナルトレーニングセンター 屋内トレーニングセンター・イースト(東館)」の開所記念式典が9月10日(火)に同館にて行われました。この施設の見学コースの中にアカデミー生が獲得した貴重なメダルやトロフィーの展示コーナー(6階)が設置されました。これから、このコーナーにできるだけ多くのメダルなどが展示させるようになることを期待しています。



【室内トレーニングセンター・イーストの展示コーナー】

【その他】 稲付中学校給食試食会

稲付中学校の給食試食会が行われ、エリートアカデミー関係者(サクラダイニングを含む)が参加しました。

給食は“自校給食”という形式で実施されており、生徒の健康と正しい食生活の理解を目指し、すべて手作り(だし汁やスープも当日取る)であり、その他にも地産地消・食品添加物不使用・遺伝子組み換え食品・原料不使用など、きめ細かな配慮がなされています。また、メニューも季節感のある“稲中オリジナル”が多く含まれています。

稲付中学校には現在4競技8名のアカデミー生が通っていますが、全員が給食を楽しみにしています。工夫を凝らしたメニューで、成長期の生徒達への望ましい健康と栄養、食習慣が提供されていることが伺えました。



【当日のメニュー(ゆかりご飯と、ジャンボ餃子、わかめスープ)】

公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。

<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>